

企画・発行 / 東日本高速道路(株) 関東支社 横浜工事事務所
電話 / 045-352-3771(代) 平成23年3月発行
©東日本高速道路(株) 関東支社 横浜工事事務所 2011

エコと人をつなぐマイロードマガジン vol.11

E-NEXCO

よこはまナビ

TAKE FREE

ドラぶら

高速料金・ルート検索や渋滞予報カレンダーなど、
全国の高速道路の便利な情報が満載です。
お手持ちの携帯電話でQRコードを読み取るか、
下記のホームページにアクセスしてください。



ドラぶら【モバイル版】

<http://m.driveplaza.com/>



表紙絵:歌川広重『東海道五拾三次之内 神奈川 台之景』

E-NEXCOとは?

東日本高速道路株式会社の英語表記「East Nippon Expressway Company Limited」の頭文字から生まれたブランドネームです。また、同時に私たちの姿勢や熱意を示した「みち」の先へを示す「Next(次なる)」と、「Co(共に)」を意味する接頭語」の2つの言葉を含んでいます。

このたびの東北地方太平洋沖地震により、お亡くなり
になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、
被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

NEXCO東日本グループといたしましては、被災地
域の高速道路の復旧等に総力を挙げて取り組んでまい
ります。

<http://www.e-nexco.co.jp>

特集 **1 食卓の笑顔を守る高速道路**
~JA全農青果センター株式会社の取り組み~

発見!
エつくるめ **横浜の農産物**
“ハマッ子”を食べよう

あなたに、ベスト・ウェイ。

NEXCO
東日本



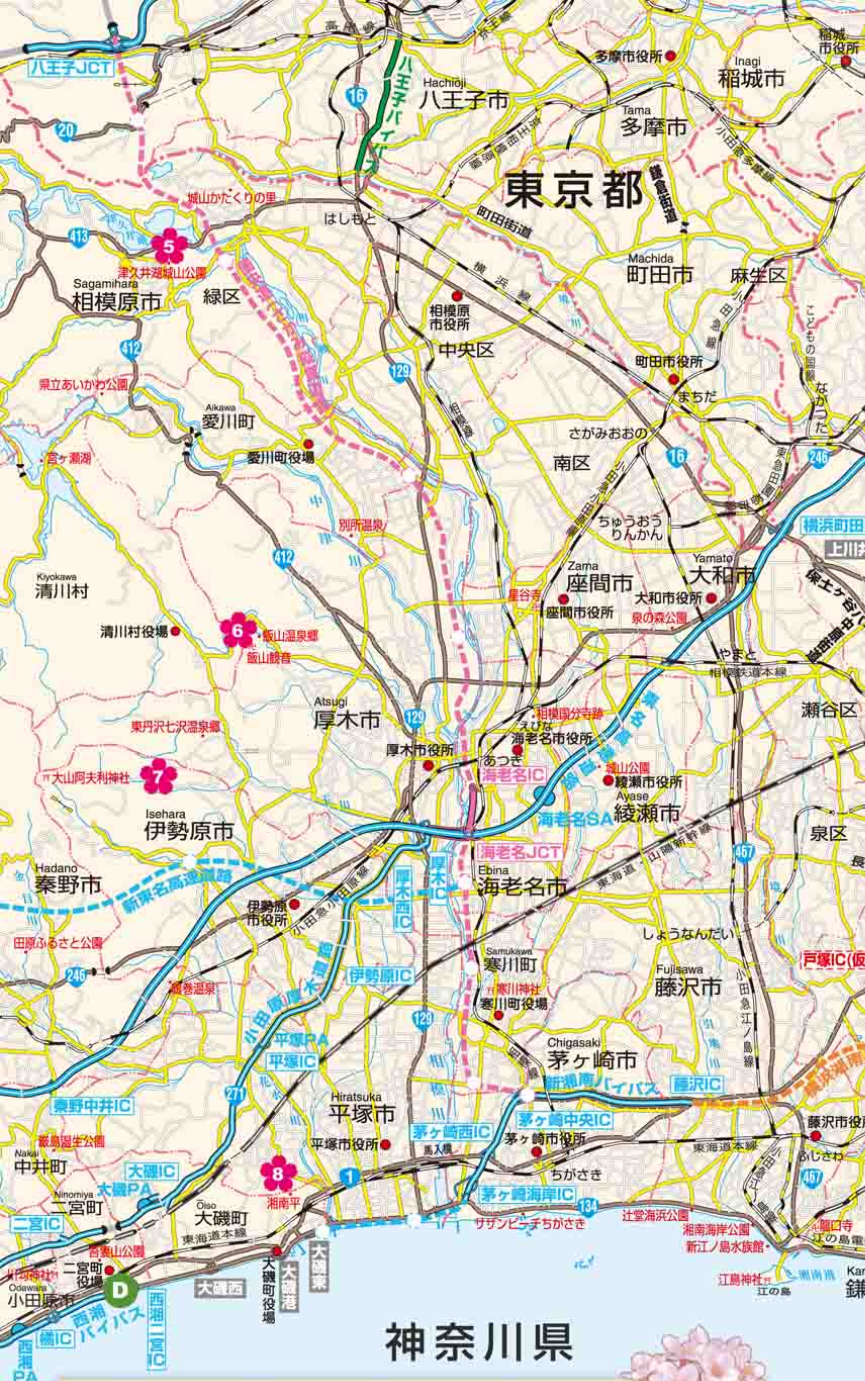


図 中央道 (首都圏中央連絡自動車道)

圏中央道は都心からの放射状道路を結び環状道路です。首都圏の主要な道路と連携して、渋滞の緩和や環境改善、沿線都市間の連絡強化など、多くの役割を担います。



神奈川県

ここが見どころ! お花見ガイド 神奈川県のおススメお花見スポットをご紹介します!

- 1** **三ツ池公園**
池の周囲に桜が咲き誇る人気スポット
3月下旬~4月上旬
横浜市鶴見区三ツ池公園 1-1
第二京浜 港北ICから約8km
入園料500円 500円/1回 (繁忙期800円/1回)
- 2** **三溪園**
日本庭園と調和する美しい桜の園
3月下旬~4月上旬
横浜市中区本牧三之谷 58-1
首都高速 本牧ふ頭出入口から約3km
入園料500円 500円/1回
- 3** **衣笠山公園**
"日本さくら名所100選"に選ばれた名所
3月下旬~4月上旬
横浜須賀野道 衣笠ICから約2km
無料 (桜のシーズンにはご利用できません)
- 4** **源氏山公園**
自然に囲まれた鎌倉屈指の桜が見どころ
3月下旬~4月上旬
鎌倉市鷹ヶ谷 4-649-1
横浜横須賀道路 朝比奈ICから約8km
無料
- 5** **津久井湖城山公園**
湖面に桜が映える絶景のコントラスト
3月下旬~4月上旬
相模原市緑区緑小屋 162
中央自動車道 相模湖ICから約17km
無料 (計193台)
- 6** **飯山白山森林公園**
広大な敷地内に約3,000本の桜が咲き誇る
3月下旬~4月上旬
厚木市飯山 5600
東名高速 厚木ICから約10km
無料
- 7** **ひなたやくし 日向薬師**
薬師林道沿いには優雅な桜並木が!
4月上旬~4月中旬
伊勢原市日向 1644
東名高速 厚木ICから約12km
拝観料300円 近隣に無料駐車場あり
- 8** **高麗山公園**
展望台から見える桜はまさに壮観
3月下旬~4月上旬
平塚市万田 790
小田原厚木道路 平塚ICから約8km
無料



凡例

—	NEXCO東日本の担当路線
—	NEXCO中日本の担当路線
—	NEXCO東日本横浜工事業務所の担当路線
—	圏中央道(さがみ縦貫道路)供用区間
—	圏中央道(さがみ縦貫道路)事業中
—	NEXCO中日本事業中
—	国土交通省の担当路線
—	その他の有料道路
—	国道
—	県道・都道

- 今日のナビスポット!
- A 神奈川宿跡地
 - B 台町の坂
 - C 走水
 - D 二宮町袖ヶ浦海岸


本誌発行の目的
本誌は、NEXCO 東日本 横浜工事業務所が発行する広報誌です。本誌を通じて、道づくりや環境について、皆さまと共に考えていきたいと思っています。

例年の見ごろ 所在地 アクセス 料金 駐車場

過去と未来をつなぐ道 —道に人あり、歴史あり—

第二回 神奈川宿

将軍行列の宿泊地 御殿の宿場



神奈川宿は神奈川湊に併設される形で、神奈川県神奈川本町（京浜急行線神奈川駅付近）に設けられました。もともと神奈川湊は14世紀末頃から東京湾の物資集散地の湊として賑わっていました。神奈川湊が商業、水上・陸上交通の要所であったことも神奈川が宿場選ばれた理由の一つと言えます。

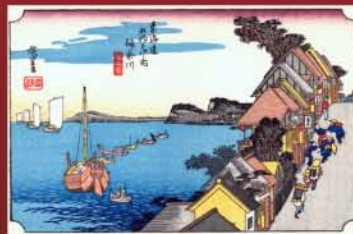
1601年（慶長6年）に成立した東海道を使って徳川将軍が江戸と京都を往復する際、将軍行列の最初の休泊地は神奈川宿でした。神奈川宿には将軍の休泊施設として「御殿」が1610年頃に建設されました（JR京浜東北線・東神奈川駅一帯）、1634年



▲「東海道絵巻 神奈川宿（部分）」中央の豪華な建物が神奈川御殿と思われる。（横浜市歴史博物館蔵）

の三代将軍家光による上洛を最後に将軍の上洛が途絶えたため、神奈川御殿もそれ以降は使用されず、17世紀末頃には神奈川御殿の建物は無く、跡地となっていました。

その後も神奈川宿は東海道の宿場としてのみならず、神奈川湊の所在地として諸国の交易の場でもあり、いわば水陸交通の要所として繁栄していました。



▲今号の表紙、歌川広重作「東海道五拾三次之内 神奈川 台之景」。写真右はこの絵に描かれた現在の台町の坂（神奈川区）。



特別対談

伝説の地「走水」

～ヤマトタケルと古代東海道～

古代東海道の走水（横須賀市）が舞台のヤマトタケルとその妃オトタチバナヒメの物語、「走水の伝説」について道路文化研究所・理事長武部健一さん、藤沢市教育委員会・生涯学習課博物館準備担当・学芸員荒井秀規さんにお話をいただきました。

—古代東海道の成り立ちについてお話しいただけますか。

武部：古代の日本は都のあった奈良・京都を中心とした畿内地域の「五畿」、「七道」という7つの地域から成り立っていました。その地域は国という単位で分かれ、国

には国府という県庁に相当する役所があり、国府間は直線的に幹線道路でつながれ、幹線道路はそれぞれの地域と同じ名前と呼ばれていました。東海道は地域区分名であり幹線道路名でもあったのです。ちなみに、初期の東海道には14か国がありました。

荒井：足柄峠を越えて相模国（神奈川県）に入った東海道は国府のあった平塚から鎌倉、走水から海路を経て上総国（千葉県）へと続

いています。相模国の国府は議論もありますが、発掘された遺構、出土品から判断してはじめは平塚（後に大磯）として良いと思います。

—「走水の伝説」についてお聞きください。

武部：「走水の伝説」は古事記、日本書紀に登場するヤマトタケルの物語の一つで、天皇命令で東征に向かったヤマトタケル一行は走水から海を渡り千葉県に向かう予定が、海が荒れ渡ることができなかった。するとオトタチバナヒメが自ら海中に身を投げ、荒れる海を鎮め、ヤマトタケルは無事に海を渡り東征を果たしたという物語です。

荒井：ヤマトタケルが船出の前に、村人に下賜した冠を祀っているのが走水神社です。また、二宮町付近の浜にオトタチバナヒメの着物の袖が流れ着いたとされ、この辺りを袖ヶ浦と呼んでいます。千葉県の袖ヶ浦にも同じ言い伝えがあります。

—なぜ、海を渡ることを選んだのでしょうか。

武部：それが一番近く、早く、しかも安全だったのでしょ。走水の伝説も「目的を達成するために困難を克服したぞ」という前向きな物語と解釈したほうが良いと私は思います。

荒井：同感です。はじめ武蔵国

荒井秀規さん

藤沢市教育委員会学芸員 荒井秀規さん。神奈川の歴史に精通。



（東京都）の湾岸地帯は低湿地で道路が通る環境ではなかったと考えられます。また、この時代も日本を治めるには海を渡ることがは必須条件でした。四国や九州はもちろん、淡路や佐渡、壱岐・対馬、隠岐の島も統治下にあったわけですから海を渡ることが自然だったと思います。

武部：「海を渡る道」は今も各地にあります。走水のフェリー航路（久里浜～金谷）、瀬戸内海の鳴門大橋等どれも昔から続く海を渡る道です。

—道と国はどちらが先にできたのでしょうか。

荒井：そもそも道はその土地の文化や生活、気象条件を考慮して安全で合理的な場所に作られてきました。最初に道ができ、その道に沿って国府ができ国ができいったのです。

武部：もちろん時代に合わせて多少位置を変えています。安全で機能的だからこそ、現代の主要道路と古代道路が同じようなルートであっても不思議ではないと思います。

—ありがとうございました。



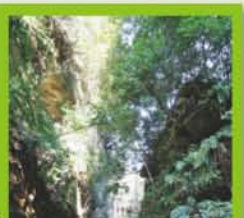
▲走水神社。最近ではパワースポットとしても人気があるそうです。



▲走水神社から臨む浦賀水道。対岸は千葉県。「海を渡れば近い」と思うのがわかります。



防衛線としての道
——鎌倉七口——
天然の要害に囲まれた鎌倉への道「鎌倉七口」。険しい道に秘められた歴史をご紹介します！
▶朝夷奈切通し



手づくりエコカー 中学生の部 日本一に! 将来が楽しみな エンジニアの卵たち



▲Aチームのエコカーの内部。



◀Bチームのエコカーも、見事4位入賞に。

▼工学部の部活風景。白いツナギがユニフォームです。



▲宮前平中学校工学部の2年生と1年生部員の皆さん。

▼全国優勝を果たしたAチームのエコカー。



昨年10月、手づくりのエコカーで燃費性能を競い合う「本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2010」全国大会の中学生クラスで、“エコカー日本一”が神奈川県から誕生しました。初優勝の快学を成し遂げたのは、川崎市立宮前平中学校の工学部(クラブ)に所属する48名の部員たち。その、情熱にあふれる取り組みをレポートしました!

大会概要:「1リットルのガソリンでどこまで走れるか?」をテーマに、中学・高校・大学などのクラスごとに規定の距離を決められた時間内で走行し、燃料消費量から算出した燃費効率を競います。川崎市立宮前平中学校からは2チームが出場し、Aチームは705.944kmで優勝。Bチームも476.429kmで4位入賞しました。



上段左: 顧問教諭の瀧村晃先生。
上段右: 部長の嘉本竜大君。
下段左: 副部長の五嶋優吾君。
下段右: 副部長の畔柳紘大君。

「先輩たちも本当に嬉しそうでした。やっと一位を取れたって」

そう話してくれたのは、工学部の新部長を務める2年生の嘉本竜大君。部員たちが一丸となって、設計やボディづくりに取り組んだエコカーが勝ち取った“日本一”。その喜びは格別でした。今年の大大会も優勝を目指す嘉本君ですが、目標はそれだけにとどまりません。「これまでの先輩たちが出した最高記録が1リットルで約997km。今年こそ、僕たちの代で1,000kmを目指したいです」

この力強い思いとともに将来の夢も大きく広がっています。

「エコカーをやっているので、できれば車関係の仕事がやりたいと思っています」

嘉本君を支える二人の副部長が今年の大大会で目指すのは、ドライバーになること。これは、狭い車体の中で、仲間の思いを背負って運転していく重要な役目です。

「責任重大だから、皆やりたがらないんです。でも先輩たちのかっこよさを見て、自分もやってみようと思いました」(畔柳紘大君)

「ドライバーには体の大きさも関係するので、なれない人もいます。せっかく、なれる体格だからやっ

てみたいんです」(五嶋優吾君)

二人もまた、将来は“ものづくり”に関わりたいという夢を持っているそうです。これほど、生徒たちを引きつける工学部の取り組みの秘密とは? 顧問教諭の瀧村晃先生にお伺いしました。

「実は小学校からものづくりをやっている生徒たちが多く、逆にこちらが勉強させてもらうほど。ものづくりの楽しさを知ってもらいたいと思っていたのですが、皆十分に楽しんでいるようですね(笑)。とにかく、この部活は地域の方や保護者の方のご理解や協力がなければ、学校だけではとてもできません。感謝しています」

そうした数々の支えに応えるためにも、工学部ではエコカー制作にとどまらない環境に目を向けた活動を行っているそうです。

「部活動の一環で地域のクリーン活動や花壇づくりなどを行っています。エコカーを通して環境に向けた目を、一過性に終わらないようにしたいですね。学校は人をつくる場所ですので『ものづくりは人づくり』ということが一番のテーマです。将来、日本の何かを背負って立つ人間が生まれてくれたら…。それが夢ですね」

食卓の笑顔を守る高速道路

～JA全農青果センター株式会社の取り組み～



「少しでも早く皆さまに青果物を届けたい」と24時間365日体制で営業しているJA全農青果センター株式会社。「もっと早くするには」と青果物物流に工夫を重ねる同社「大和センター」の取り組みと、それを支える道路交通網整備の役割をご紹介します。

おいしい青果物を少しでも早く届けたい



▲JA全農青果センター株式会社・大和センター管理部長の中田哲也さん。

「日本全国の産地から送られた青果物が、夜8時～1時頃に到着。それを仕分けて包装等を行い、朝4時～6時頃には神奈川県を中心に東京都や静岡県東部(沼津付近)の取引先の店舗等に出荷します」
そう話すのは、JA全農青果センター株式会社・大和センター管理部長の中田哲也さん。驚くことにセンターに到着した野菜の半数は、わずか数時間のうちに各取引先店舗へと送られています。
「消費者に新鮮でおいしい、しかも栄養価の高い野菜や果物をお届け

鮮度を保つために、コンテナを使って運びます。
※写真はコマツナ。



大和センターに納品された青果物は得意先ごとに仕分け・包装され、スピーディに配送されます。



けしたいと思っています。それは産地にとっても、農作物本来の味を届けられる喜びにつながります。そのためには、物流のスピードが命なんです」
そこに重要な役割を果たしているのが、道路交通網の整備です。「大和センターは東名高速の横浜町田ICにも近く、とても便利な立地にあります。関東には群馬県・栃木県・千葉県など野菜の生産地がそろっているため、そこから鮮度を保ち、スピーディに運ぶためにも高速道路は重要です」



大和センターには、なんと1日平均10tトラック約150台分の青果物が届けられています。

「もっと早く届けたい」進化する青果物の物流

大和センターは平成24年2月に現在の大和市から平塚市東八幡に新設移転し、「神奈川センター」として生まれ変わります。敷地面積は現在の1.5倍以上の14,000坪。システム化された商品管理で、より効果的な青果物の物流を行うことができます。この移転には圏央道やよこかんみなの完成を折り込んだ、大きな狙いがあるそうです。
「移転先は大和センターより遠くて不便になる…と言われることも

あります。でも、これらの道路が完成すると物流革命が起きると思っています。今は東京の市場向けを中心に荷が動いています。ところが圏央道が八王子とつながることで、北関東や東北地方の産地から、都心を通らずに神奈川センターに直接納品できます。さらに、よこかんみなみが完成すると、重要な生産地である三浦半島とも直結します。輸送時間の短縮やコストの削減につながり、その分をより良いサービスに還元できます。



◀神奈川センターの完成予想図(鳥瞰図)。広い敷地で最新の設備を活用した効果的な物流ができるように。



※愛川農産セットセンターとは？
大和センターが生協と共同で運営する青果物宅配センター。

これらの道路の早い完成を期待しています」
さらに、業績面でも大きな効果が見込まれています。
「現在、神奈川県西部と静岡県には大きな物流拠点がなく、その役目を担いたいですね。営業エリアも山梨県や埼玉県にまで拡大することを目指しています」
また、神奈川センターは業界に先んじて産地から売り場まで徹底

した温度管理による低温輸送を実現することで、おいしさ高い栄養価を保ったまま青果物を届けることができます。まさにJA全農の理念である「消費者と生産者の懸け橋になる」が実践されています。こうした食卓の笑顔を守るためのたゆまぬ努力を支えるのも高速道路、道路交通網整備の使命なのです。

2 発見! エつぐるめ 横浜の農産物 “ハマッ子”を食べよう

横浜市は農地面積・農家戸数で神奈川県内1位、地産地消にも積極的な“農業都市”の一面を持っています。そして、地産農作物の代表が今回の主役。“ハマッ子”と名付けられた横浜市内で生産・収穫された野菜の数々です。横浜生まれのブランド“ハマッ子”の魅力をたっぷりご紹介します!!



横浜の農業の代表。それが“ハマッ子”

横浜には“ハマッ子”という地産野菜のブランドがあることをご存知でしょうか? このページ右上のシンボルマークを横浜市内のスーパーや直売所で見かけた方も多いはず。このハマッ子誕生には大きな思いが隠されていました。

「ハマッ子を市内に流通させ始めたのは平成6年から。高齢化や担い手不足、経営の問題などで地盤沈下していく横浜の農業をどうしたら再生できるのか、その思いがきっかけでした」

とは、ハマッ子の生みの親であるJA横浜常務理事の矢澤定則さん。そう、ハマッ子は横浜の農業を強くするために誕生したのです。

「横浜の農業を評価するのは、地元の方です。まずは、横浜市内に住む三百数十万人に横浜で採れた野菜を食べてもらいたい。そのため、基準を設けずに、横浜で生産されJA横浜が取扱う野菜すべてをハマッ子として横浜市内に流通させました。ハマッ子は農産物を守るためだけのブランドではなく、横浜の農業を知ってもらうコミュニケーションブランドでもあるのです」



泉区の直売所「メルカートみなみ」では、ハマッ子ブランドの新鮮な地場野菜はもちろん、卵などの畜産物も販売しています。

「横浜の野菜といえば“ハマッ子”」と言われるために

「ハマッ子も誕生から16～17年が過ぎてだいぶ浸透してきましたが、まだ『どこに行けば買えるのか?』と質問されることがあります。でも、こうした展開を拓くためには時間がかかるので、じっくり取り組んでいこうと思っています。横浜にはハマッ子という地産野菜があることを、農家、消費者双方がもっと共有していくことが大切だと思っています。そして農家と農協と売り場が知恵を出し合って連携していくことで、より生産者の顔が見えるブランドとして横浜市民にアピールしていきたいですね」

矢澤さんの思いは、それだけにとどまりません。ハマッ子の理想は横浜の農業の新しい姿を作っていくことです。

「横浜市は野菜の自給率が高いと言われていますが、それでも10～13%程度。その一部としてのハマッ子なら目立たなくなるのは当然です。しかし、この10数%すべてがハマッ子になったら、消費者にもっと横浜産の野菜をアピールできます。たとえばですが、横浜市内には個人運営の農家の直売所が約1,000か所あります。これらすべての直売所がハマッ子を扱うようになれば、横浜市が“ハマッ子の町”になるんです。横浜市全体をカバーしていくような地産地消を進めていくこと。それが目標です。横浜市民が『横浜の名産はハマッ子だ』と自慢できるようなものにしていきたいですね」

まさに地産地消の代名詞と言えるハマッ子。皆さまもぜひ新鮮なおいしさを味わってください!!



▶ハマッ子の生みの親。JA横浜常務理事の矢澤定則さん。

[Information]

横浜は立派な生産地です

横浜市は全国トップクラスの生産量を誇る野菜がたくさんある、立派な生産地でもあるのです。

ハマッ子の直売所に行こう

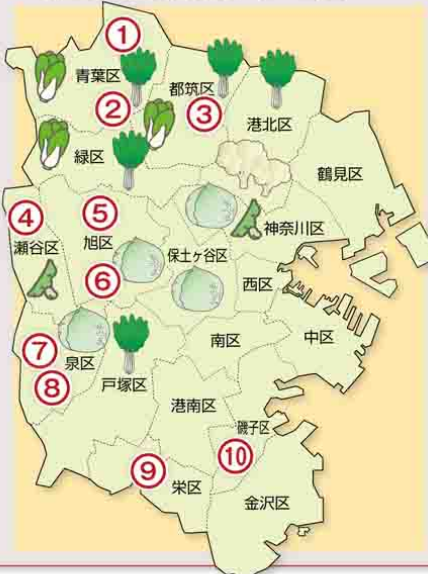
採れたての農作物を購入するのが直売所の魅力。JA横浜では市内に10か所の直売所を運営し、ハマッ子を扱っています。

「横浜のような広い地域では、小規模でも拠点をいろいろな地域に構えたほうが、近隣の生産者と消費者が近づくことができ、効果的なんです」(矢澤さん)

さあ、新鮮な野菜を買いに、お近くの直売所に足を運んでみませんか?

農産物ベスト5		キャベツ: 全国10位	
コマツナ: 全国2位	カリフラワー: 全国8位	ホウレン草: 全国11位	エダマメ: 全国11位

平成18年産。農林水産省統計情報データベースより。



① たまプラーザ農産物直売所「ハマッ子」 所 青葉区美しが丘 2-15-1 営 10:00～17:00 休 年中無休(年末年始を除く)	⑥ 南万騎が原農産物直売所「ハマッ子」 所 旭区柏町 131-2 営 9:30～17:00 休 火曜日・年末年始
② 中里農産物直売所「ハマッ子」 所 青葉区下谷本町 40-2 営 9:30～17:00 休 火曜日・年末年始	⑦ 泉区ファーマーズマーケット「ハマッ子」 所 泉区下飯田町 1624-1 営 9:30～17:00 休 年中無休(年末年始を除く)
③ メルカートきた 所 都筑区東方町 1401 営 8:30～18:00(10～2月は17:00まで) 休 年中無休(年末年始を除く)	⑧ メルカートみなみ 所 泉区中田西 2-1-1 営 8:30～18:00(10～2月は17:00まで) 休 年中無休(年末年始を除く)
④ 瀬谷農産物直売所「ハマッ子」 所 瀬谷区本郷 2-32-10 営 9:30～17:00 休 水曜日・年末年始	⑨ 本郷農産物直売所「ハマッ子」 所 栄区桂町 279-24 営 9:30～17:00 休 水曜日・年末年始
⑤ メルカートつおか 所 旭区今宿西町 289 営 8:30～18:00(10～2月は17:00まで) 休 年中無休(年末年始を除く)	⑩ メルカートいそご 所 磯子区田中 2-4-8 営 8:30～18:00(10～2月は17:00まで) 休 日曜日・年末年始

よこかんみなみNEWS

横浜環状南線(よこかんみなみ)ができるとうどうなるの？

◎東名高速や中央道・関越道に直結。所要時間が大幅に短縮されます。



整備前の経路
整備後の経路

横浜港と首都圏内陸部との所要時間が短縮されて物流の効率が良くなり、地域間の交流や沿線の企業進出など、経済効果が見込まれます。

◎圏央道の一部として広域ネットワークを形成し、集中する交通を適正化します。

三大都市圏を結ぶ東名高速や建設中の新東名と、東京湾岸地域の連絡を強化する広域ネットワークとして機能します。また、神奈川県内では、横浜市に集中する交通を分散し、交通の流れを適正化します。



- ・横浜町田IC～厚木IC間は、東名高速のうち、最も交通量の多い区間。
- ・東名高速と横浜港や羽田空港が位置する京浜臨海部を結ぶ保土ヶ谷バイパスは、全国で最も交通量の多い道路。



- ・東名高速、保土ヶ谷バイパスに集中する交通を、よこかんみなみ経路のルートで分担。
- ・整備の進められている新東名は、圏央道に直結する予定。

その他にも、環状4号線の交通混雑の緩和や、交通事故の減少、CO₂などの排ガスの削減などが期待されています。

横浜環状南線(よこかんみなみ)ってなに？

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の一部で、横浜環状道路の南側区間でもある横浜環状南線は、横浜横須賀道路の釜利谷ジャンクションと国道1号を結ぶ、延長約8.9kmの自動車専用道路です。全線の約7割がトンネル、または半地下構造となっています。



◎もしもの時に受け入れ先となる医療施設の選択肢が拡大されます。

緊急性の高い患者を1分でも早く、また振動などの負担をかけずに搬送できるようになります。



夢と未来をつなぐ道「北関」。平成23年3月19日全線開通！

NEXCO東日本が建設を進めてきました北関東自動車（愛称：「北関（きたかん）」）の、太田桐生インターチェンジ（IC）から佐野田沼ICまでの延長18.6kmが、3月19日に開通いたしました（右図をご参照ください）。これにより、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る延長約150km（東水戸道路の約10kmを含む）の「北関」



「北関」利用の場合

※時間は各県庁間の移動時間
※NEXCO東日本実走調査結果と未開通区間は、速度100km/hとして算出
※開通前の移動時間は平成11年度道路交通センサスより算出
※開通前の移動時間のルート
宇都宮～水戸間は、R123号～R294号～県41号～R50号の走行ルートで算出
宇都宮～前橋間は、県2号～県3号～R293号～R50号の走行ルートで算出
前橋～水戸間は、R50号の走行ルートで算出

が全線開通することになりました。今回の開通によって、群馬・栃木・茨城の北関東3県の間移動時間が大幅に短縮され（左図をご参照ください）、物流の効率化や地域経済の発展に寄与するなど、様々な効果が期待されています。

詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.e-nexco.co.jp/kitakan>

高速道路がますますエコになります！

“環境のこれから”のために、足利ICと出流原PAは、環境に優しい様々な技術を導入した「ecoインター」、^{いずるほら}「ecoエリア」として整備されました。その一部をご紹介します！

ecoインター

足利 IC 料金所完成予想図



ecoエリア

出流原 PA (西行き) 鳥瞰図



新たな施設として、足利ICと出流原PAが同時に完成。北関がさらに便利になりました！

アンケートに答えてプレゼントをもらっちゃおう！

A NEXCO 東日本オリジナル
【パトロールカーチョコQ】 Ver.2 **10**名様



NEXCO 東日本管内の高速道路を巡回しているパトロールカーのチョコQ。ドラぷらショッピングでも大好評発売中！！

B みかんがそのまま！
ストレート果汁
みかんジュース 1箱
(195g × 30 缶入り) **5**名様



神奈川県産の温州みかんを使用した100%ストレート果汁のジュース。栄養と美味しさが満点です！

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「パトロールカーチョコQ（※色は選べません）」、または「ストレート果汁みかんジュース」をプレゼント！ハガキに必要事項とご希望の商品をご記入のうえ、2011年6月30日までに応募ください（当日消印有効）。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。皆さまのご応募をお待ちしております。

24時間、365日、お客さまの声をお聞きしています。

NEXCO 東日本 お客さまセンター

0570-024-024

PHS・IP電話のお客さま：03-5338-7524

(24時間)

(24時間)